

令和4年10月28日

杉並区立西荻北子保育園

園長 石床 美穂子

11月の園だより

みんなが輝く運動会

園長 石床 美穂子

今年も天候に恵まれ、予定通り10月22日に運動会を行うことができました。子どもたちは、運動会に向けていろいろな活動を楽しみながら、期待感をもって当日を迎えました。西荻北子保育園の運動会は、1学期からの積み重ねを大切にし、毎日の遊びや生活がつながっていく運動会です。3歳児、4歳児、5歳児それぞれの学年の発達にふさわしいプログラム内容や進め方で、子どもたちが“やりたい”気持ちをもち、主体的に取り組めるようになっています。

運動会で子どもたちに経験してほしいことは、全園児では、「伸び伸びと体を動かす心地よさを感じる。」「保護者の方たちに見てもらい満足感を味わう」3歳児うさぎ組は、「先生と一緒に運動遊びを楽しむ」4歳くま組は、「先生や学級の友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう」5歳ぞう組は「自分のめあてに向かって挑戦する、チームの仲間と力を合わせる、学級のみんなと自分たちの運動会を進めていく」ことです。

うさぎ組は、「可愛いおばけ」がテーマでした。9月から“おばけのばけちやま”の絵本を読んだり、遊びの中でおばけをかくてペープサートやお面を作りごっこ遊びを楽しんだりしました。また、“おばけのばけちやま”の曲に合わせて踊ることも繰り返ししました。保育室の壁面にも絵本の世界が描かれていて、うさぎ組の子どもたちの生活に溶け込んでいきました。運動会では、うさぎ組が大好きな“ばけちやま”になりきって表現したり、踊ったりしました。また、親子競技では、今まで楽しんできた運動遊びを親子で行いました。最後にお父さんやお母さんにおんぶしてもらった時の子どもたちの嬉しそうな笑顔が微笑ましかったです。いつも先生と楽しんできたことだからこそ、初めての運動会に安心して参加し楽しめたと感じています。

くま組は、1学期から遊びで「忍者ごっこ」をしていました。その中で、子どもたちが、いろいろな術を考えてなりきって動いたり、忍者の修行として用具を組み合わせて場を作ったりしました。そして、細い道を歩く・高いところの上って飛び降りる・蜘蛛の巣に引っかからないようにそと動いて抜ける・手裏剣を作って悪者と戦う・・・等たくさんさんの修行をする中で多様な動きを経験しました。担任の先生も忍者の仲間となり一緒に楽しんでいました。時折、忍者の親分から「がんばるでござる。」と手紙が届くこともありました。このように子どもたちが楽しんでいる姿から、くま組は「忍者」をテーマにしました。当日も自分で作った衣装を身に付けて、忍者になりきって登場しました。遊びで十分楽しんだ忍者という共通のイメージがあることで、くま組のみんなが一緒にしているという思いをもち、意欲的にいろいろな運動遊びや踊りを楽しむことができたと感じています。

ぞう組は、「まつり」がテーマでした。そして、一人ひとりが自信をもって運動会で力を発揮することを大切にしました。運動会の種目や自分たちが司会をして運動会を進めていくこと等をみんなが決めてきました。運動会の種目のリレーや綱とりも友達と一緒に競い合いながら楽しんできたものです。勝つ嬉しさや負けるくやしき等の葛藤体験を経て、チームの一員として力を出し、みんなで力を合わせていこうというつながりができてきました。見通しをもって主体的に取り組んできたことで、開会式から閉会式まで年長らしい堂々とした姿で運動会に参加していました。そして、自分が頑張る、チームの仲間と頑張る、ぞう組のみんなで頑張る・・・いきいきとした姿があり、達成感を味わうことができました。

保護者の皆様からいただいた感想にも「子どもたちがいきいきとしていた。」「楽しそうに参加していた。」「子どもの成長を感じた。」「子ども同士つながりを感じた。」「という声があり、今までの経験から育った子どもたちの姿を見ていただけたことを嬉しく思いました。また、当日は、子どもたちへのあたたかいまなざしと応援をありがとうございました。保護者の皆様のたくさんさんの拍手が園庭に響いて、子どもたちの心に届き、満足感や達成感につながったと思います。この豊かな体験を今後の教育に生かしてまいります。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

運動会が終わっても、おばけのばけちやまになって踊ったり、年長組の運動会の踊りを真似してパチにみたてたぐるぐる棒をもって、振り付けを真似て踊ったり好きなように踊ったりし運動会ごっこを楽しんでいます。また、1学期から楽しんでいる丸追いかっこがより楽しくなり、何度も走ったり、繰り返して速くなってきています。

今月は、追いかっこから簡単なルールのある鬼ごっこ等を保育者や周りの幼児と一緒に楽しむ中で、体を動かして遊ぶ経験がたくさんできるようにしていきます。

<今月のねらい>

○自分で選んだ遊びをしたり、同じ場にいる幼児と関わったりしながら遊ぶ楽しさを味わう。

○保育者やみんなと一緒に体を動かしたり、触れ合ったりする楽しさを感じる。

○上着の着脱や、手洗い等、自分でできる嬉しさを感じる。

<家庭との連携>

寒くなり衣服を着脱する機会が増えます。袖をひっくり返す、衣服の前後の見方、下着をスボンに入れる等一つひとつやり方を知らせていきましょう。その際、自分でできた嬉しさを感じられるように、やっている姿を認めたり、やろうとする姿を温かく見守ったりしていきましょう。

11月1日(火)より、降園時間が変更します。30分長くなることで、園生活が充実する一方、お子さんの疲れが出てきます。休息をしっかりとることを大切にしていきたいです。

4歳児 <ま組

運動会が終わわり、年長組の踊りを踊ることを楽しんでいます。腰の入り方が年長組のようで、友達と一緒に「もう1回！」と繰り返して踊ることを楽しんでいます。また、『<ま組リレー』と称して、懂れのバトンをもって折り返しリレーに取り組み始めました。使う道具も自分たちで準備をしています。一緒に走っている友達より早く走ろうしたり、同じチームの友達に「OOちゃん頑張ってる！」と声を掛けたり、友達を感じて遊ぶ姿が多くみられるようになってきています。

<今月のねらい>

○自分の思いや考えたこと様々な方法で表して遊ぶことを楽しむ。

○自分の思ったことを言葉や動きで表したり、そのことを相手に受け止められる喜びを感じたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。

○身近な秋の自然に触れたり、遊びや製作などに取り入れたりすることを楽しむ。

<家庭との連携>

運動会の経験を経て、「友達と一緒に」が楽しくなってきました。友達同士で遊んでいる中で自分の気持ちを相手に出せるようになってきたことで、トランプが増えると思います。ご家庭でも話を聞いて、見守っていただけたらと思います。何かご心配なことがありましたら、担任にお声かけください。

5歳児 そう組

先日は運動会にご参加いただきありがとうございました。運動会のあとも、リレーをしたり、年少児に踊りを教えたりして、再現遊びを楽しんでいます。原っぱ公園への散歩では、公園に向かう足取りが速く、軽くなっていたり、公園でつくった大きめのトラックを思い切り走っている様子があったりして、運動会を経て、体を動かす心地よさや、友達と一緒に力を合わせて取り組むことの面白さを感じているようです。

今月は、公園への遠足など、心地よい天候の中で体を動かす経験を引き続きしつつ、子ども会に向けても友達とイメージや考えを出し合い、遊びを楽しめるようにしていきます。

<今月のねらい>

- 友達と力を合わせたり、気付いたことを伝え合ったりしながら運動遊びをすることを楽しむ。
- 友達と思いや考えを出し合い、共通の目的に向かって遊びや活動を進める楽しさを味わう。
- 絵本や物語に親しみを持ち、想像を豊かにして聞いたり、表現したりすることを楽しむ。

<家庭との連携>

日差しのある日は、外で体を動かすと少し汗ばむこともあります。一方、急に気温が低くなる時もあります。お子さんが自分で調節のしやすい衣服を着用して登園するようにしましょう。

ほしグループ 長時間保育

10月は体を動かして遊ぶことを学年を超えて楽しむ姿が多くみられました。

うさぎ組とくま組では、養健棒やドラム積木などを並べて歩くことを楽しむ姿が見られました。また、くま組の子どもたちは保育者が回しているフラフラを見に興味をもち、「先生こうやって回してた!」と同じように体を動かし、繰り返して遊ぶでいました。そう組は、夕方もリレーを楽しみました。他チームの応援をしたリ線の近くを走れることを意識したりしてはりきって走っていました。かっこよく走るそう組に憧れ、くま組がリレーに加わることもありました。そう組の子どもたちは、くま組の走るペースに合わせてゆっくり走ったり、ルールを教えたりと優しく接していました。

11月第一週よりそう組は午睡をせずに室内で休息をしながらゆったりと遊んで過ごします。体が慣れるまでは疲れることが予想されますので、ご家庭でも体調管理をお願いします。